

●人間の体を基準とした長さ

・大昔の紀元前 6 千年頃、古代メソポタミアでは当時の王の腕の長さが長さの単位として使われていました。「キュービット」という単位で、1 キュービットは肘から中指の先端までの長さ、大体 43~53cm くらいです。ピラミッドもこのキュービットを基準にして作られました。

・旧約聖書に登場するノアの方舟の大きさは、長さ 300 キュービット、幅 50 キュービット、高さ 30 キュービットといわれているので、1 キュービットを概略 0.5m とすると、長さ 150m、幅 25m、高さ 15m 程度の大きさの船ということになりますね。

・手のひらをひろげたときの親指の先から小指の先までの長さは「スパン」と呼ばれ、キュービットの半分の長さとなされました。

・1 キュービット = 2 スパンで、実際に手のひらをひろげて腕に当ててみると納得できます。なお、スパンという言葉はいまも建築の寸法規模を表す単位として使われていて、1 スパンといえばおよそ 6~7 メートルほどの寸法です。

(注)「キュービット」はラテン語で「肘」を意味している。

・親指以外の 4 本指の幅は「パルム」と呼ばれ、これはスパンの 1/3 に当たります。

・親指以外の指 1 本の幅は「ディジット」と呼ばれ、「パルム」の 1/4 に当たります。ディジットは現代のデジタルの語源とされています。

・親指の幅は「インチ」と呼ばれ、この単位は現在も使われていますね。実際に親指の幅を測ってみると確かに 1 インチ (2.54cm) 程度あります。

・手や腕ばかりでなく、足の幅も「フット」という単位となっていました。これから現在のフィートが連想されます。1 フィートは 30.48cm だから、昔の人の足は結構大きかったのでしょうか。

・花子：なるほどねえ～。道具もなにもなしで、最も手っ取り早いスケールね。

・K 氏：そうだね。いままで出てきたスケールをまとめておくと次のようになる。

1 キュービット = 2 スパン

1 スパン = 3 パルム

1 パルム = 4 デジット

